

科目名	発達障害作業療法学【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	江 渡 文						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	発達障害の作業療法を実践する上で必要となる子どもの発達に関する基礎知識を概説し、その知識を基に発達障害をもつ子どもの障害の症状、その家族がもつ様々な問題を理解する為の基礎知識を解説し、発達障害に対する評価方法、及び介入方法を紹介する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 子どもの発達過程を理解できる。 2) 発達障害の症状を理解できる。 3) 発達障害をもつ子どもの家族の問題を理解できる。 4) 評価の目的、方法、介入方法を理解できる。 5) 子どもの発達上の課題について自分の意見を述べることができる。 6) 子どもの発達と発達障害の症状がどのように影響しているかを解釈しようとする意思を示す。 7) 発達障害をもつ子どもとその家族の間に起こり得る諸問題に関心をもつ。 8) 発達障害をもつ子どもとその家族に対する作業療法について関心をもつ。						
学習方法	講義、グループワーク・発表、実技						
テキスト及 び参考書等	テキスト：正常発達脳性まひ治療への応用 紀伊克昌（三輪書店）						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					70	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			◎			10	
受講者の発表		○				10	
授業への参加度			◎			10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	発達障害の作業療法における基本的理念						
第 2 週	正常発達の基礎知識						
第 3 週	正常発達の基礎知識						
第 4 週	正常発達の基礎知識						
第 5 週	正常発達の基礎知識						
第 6 週	子どもの遊び						
第 7 週	子どもの遊び						
第 8 週	子どもの養育支援体制						
第 9 週	障害別作業療法の実際(ダウン症)						
第 10 週	障害別作業療法の実際(脳性まひ)						
第 11 週	障害別作業療法の実際（筋ジストロフィー）						
第 12 週	障害別作業療法の実際（分娩まひ・自閉症）						
第 13 週	評価及び効果判定						
第 14 週	評価及び効果判定						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考	授業中わからないことに対して、積極的に質問すること。						